

# 【環境省】 一般廃棄物の排出及び処理状況等 (平成 28 年度) について

まとめ：ごみかん運営委員 小野寺 勲

環境省が、2016 年度の全国の一般廃棄物の排出及び処理状況等について調査し、その結果を取りまとめたもの。全 25 ページ。毎年度実施。人口 10 万人以上 50 万人未満では、東京・多摩地域の市がリデュースで 8 つ、リサイクルで 6 つベスト 10 に入っています。一方、人口 10 万人未満では、リサイクルのベスト 10 に入っている町村は、ほとんどが生ごみを堆肥化またはバイオガス化しています。

## ■ ごみ排出の状況

### ごみ総排出量

- 4,317 万トン、前年度比 1.8%減。
- 5 年前 (2011 年度) に比べ 5.0%減。
- うち、生活系ごみ 3,018 万トン、前年度比 2.5%減。
- 5 年前に比べ 6.8%減。
- ※ごみ総排出量=収集ごみ量+直接搬入量+集団回収量

### 1 人 1 日当たりのごみ排出量

- 925 グラム、前年度比 14 グラム減。
- ※ 2012 年度より外国人人口を含むため、5 年前との比較不能。

## ■ ごみ処理の状況

### 総資源化量

- 879 万トン、前年度比 2.3%減。
- 5 年前に比べ 6.3%減。
- ※総資源化量=直接資源化量+中間処理後再生利用量+集団回収量

### リサイクル率

- 20.3%、前年度比 0.1 ポイント減。
- 5 年前に比べ 0.3 ポイント減。
- ※リサイクル率 (%) = 総資源化量 / ごみ総排出量 × 100

## ■ 3 R 取り組みのベスト 10

### リデュース (1 人 1 日当たりのごみ排出量) 取り組みの上位 10 位市町村 (単位: グラム/人日)

人口 10 万人未満			人口 10 万人以上 50 万人未満			人口 50 万人以上		
1. 徳島県	神山町	300.7	1. 東京都	小金井市	622.7	1. 愛媛県	松山市	789.3
2. 長野県	川上村	302.7	2. 静岡県	掛川市	641.2	2. 東京都	八王子市	799.1
3. 長野県	南牧村	315.9	3. 東京都	日野市	661.1	3. 広島県	広島市	840.8
4. 長野県	泰阜村	335.9	4. 静岡県	藤枝市	674.6	4. 京都府	京都市	846.1
5. 長野県	中川村	358.4	5. 東京都	府中市	678.5	5. 埼玉県	川口市	852.0
6. 奈良県	野迫川村	379.6	6. 東京都	西東京市	687.2	6. 神奈川県	横浜市	855.4
7. 宮崎県	高原町	380.3	7. 東京都	国分寺市	687.2	7. 神奈川県	川崎市	859.4
8. 長野県	平谷村	386.2	8. 東京都	立川市	703.6	8. 神奈川県	相模原市	877.3
9. 長野県	阿南町	398.2	9. 東京都	三鷹市	705.1	9. 静岡県	浜松市	878.6
10. 長野県	豊丘村	401.2	10. 東京都	東村山市	706.0	10. 熊本県	熊本市	878.8

### リサイクル (リサイクル率) 取り組みの上位 10 位市町村 (単位: %)

人口 10 万人未満			人口 10 万人以上 50 万人未満			人口 50 万人以上		
1. 鹿児島県	大崎町	83.4	1. 岡山県	倉敷市	54.0	1. 千葉県	千葉市	33.3
2. 徳島県	上勝町	81.0	2. 東京都	小金井市	50.2	2. 新潟県	新潟市	27.9
3. 北海道	豊浦町	80.7	3. 神奈川県	鎌倉市	47.5	3. 東京都	八王子市	26.0
4. 鹿児島県	志布志市	74.7	4. 東京都	国分寺市	40.1	4. 愛知県	名古屋市	25.5
5. 長野県	木島平村	70.3	5. 埼玉県	加須市	39.1	5. 福岡県	北九州市	24.9
6. 北海道	小平町	67.1	6. 東京都	調布市	37.3	6. 神奈川県	横浜市	24.9
7. 福岡県	大木町	66.7	7. 東京都	東村山市	36.5	7. 埼玉県	川口市	22.7
8. 青森県	逢田村	64.7	8. 愛知県	小牧市	36.3	8. 岡山県	岡山市	22.7
9. 北海道	本別町	62.2	9. 東京都	府中市	35.3	9. 北海道	札幌市	22.6
10. 北海道	足寄町	56.0	10. 東京都	西東京市	34.6	10. 埼玉県	さいたま市	22.5

※ごみ燃料化施設及びセメント原料化施設にて中間処理された量及びセメント等に直接投入された量を中間処理後再生利用量から差し引きリサイクル率を算出。